

近畿都市学会報

第193号

2016年4月10日

近畿都市学会

近畿都市学会・連絡先

■近畿都市学会暫定事務局への移転のお知らせ

大阪府立大学研究室が利用できなくなりましたので下記の間、下記オフィスへ暫定事務局を置きます。この期間のお問い合わせ等は下記にお願いいたします。

【期間】2016年2月24日（水）～2016年7月予定の総会までの期間

【郵便物等宛先住所】〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階 大阪市立大学大学院創造都市研究科内小長谷研究室気付 近畿都市学会暫定事務局
090-4649-2590

info@kintoshi.org（変更無し）

会費納入先：ゆうちょ銀行 振替口座

00990-7-86235 近畿都市学会

※ゆうちょ以外の金融機関からは下記で送金できます。
ゆうちょ銀行 ○九九店（ゼロキユウキユウ店）
当座 0086235 キンキトシカ`ツカイ

■近畿都市学会編集委員会 宛先

（原稿等はすべてこちらにお願いします）

〒530-0001

大阪市北区梅田1-2-2-600

大阪駅前第2ビル6階

大阪市立大学大学院 創造都市研究科内

近畿都市学会 編集委員会

（担当）副編集長：小長谷一之

>電話：090-4649-2590

>ファックス：072-721-0064

>Eメール：konagaya@zc4.so-net.ne.jp

I. 2016（平成28）年度春季大会のお知らせ（予定）

近畿都市学会の2016年度春季大会は、以下のように予定しております。

【日時】2016年7月3日（日）

【会場】神戸学院大学 有瀬キャンパス

【プログラム】（すべて予定）

- 1) (11:30までに) 会計監査
- 2) 11:30～12:30 理事会・評議員会
- 3) 12:40～13:20 総会
- 4) 13:30～13:40 開会挨拶 近畿都市学会会長
- 5) 13:40～14:30 基調または特別講演
- 8) 14:30～17:00 一般研究報告
- 9) 17:30～ 懇親会

一般研究報告の申込締切 →5月13日（金）事務局まで必着

一般研究報告の要旨提出締切 →5月20日（金）編集委員会まで必着

II. 2016年度春季大会研究発表を募集します。

■ 研究報告の募集

①研究報告の申し込み

→報告題目、報告者氏名（所属と連絡先を必ず明記して下さい）および報告の際の使用希望機器（パソコンプロジェクター等）を明記したものを、5月13日（金）必着で近畿都市学会事務局まで、Eメールの方法でお送り下さい。

②報告要旨の提出

→報告要旨を作成し、**5月20日(金)必着で上記の近畿都市学会編集委員会まで**、メール(テキストファイル)でお送り下さい。なお、フォーマットはヨコ40字・タテ38行、10.5ポイント、MS明朝(英数はcentury)とし、図表を含めて、1200字以内とします。

Ⅲ. 2016年度日本都市学会各賞の推薦著書候補を募集します。

2016年度日本都市学会各賞(奥井記念賞、論文賞、まちづくり賞)の近畿都市学会からの推薦候補を募集いたします。対象は、以下の通りです。

【1. 奥井記念賞】日本都市学会会員の著作で、2014年1月1日から2015年12月31日の**2年間**に刊行されたもの。

【2. 論文賞】日本都市学会年報および地域都市学会学術誌論文で、2014年1月1日から2014年12月31日の**1年間**に刊行され、著者が掲載時39歳以下で、単著かファーストオーサーであるもの(本賞のみ、条件の合う方は全て全国の委員会で機械的に審査対象となりますので、支部へのご推薦は要りません)。

【3. まちづくり賞】都市学の発展に貢献し、新しい考え方を示した地域調査機関や行政等の報告書・まちづくり業績(2013年1月1日から2015年12月31日の**3年間**)で、その集団的創作にかかわった会員。

候補のある場合は**2016年4月20日までに**、近畿都市学会事務局までご連絡ください。近畿都市学会理事会において、日本都市学会への推薦を検討いたします。要綱等についての詳細は日本都市学会ホームページ<http://toshigaku.org/>をご覧ください。

Ⅳ. 近畿都市学会理事会等のご報告

近畿都市学会2015年度第5回理事会は、日時：2016年1月12日(火)に大阪府立大学文化交流センター談話室(大阪駅前第2ビル6階)で開催され、事務局の大阪府立大学から大阪府立大学梅田サテライト(暫定事務局：2月24日～7月3日)への移転、次期会長選挙日程等を検討しました。

近畿都市学会2016年度第1回理事会は、日時：2016年4月6日(火)に大阪府立大学文化交流センター談話室(大阪駅前第2ビル6階)で開催され、次期会長結果の確定、2016年度春季大会(神戸学院大)、日本都市学会賞の応募、次期体制、「事務局のあり方WG」の設置、2015年度日本都市学会常任理事会報告(新年度論文審査委員の支部推薦に久委員継続を原案とすること、以下の「新しい都市学を考える」シンポジウムへの対応方針の2件)、等を検討しました。

Ⅴ. 近畿都市学会会長選挙 選挙結果のご報告(選挙管理委員長)

近畿都市学会会則第11条(役員互選)により、次期会長(2016年7月～2018年6月)の選挙を行ったところ、碓井照子氏が22票の過半数(※有効投票数34票、以下山崎健氏ほか)となったため、過半数最多得票の碓井照子氏に就任承諾の意思を確認し、同氏を次期会長に決定した。選挙管理委員長 長尾謙吉(評議員)。

Ⅵ. 日本都市学会第62回大会(関東担当、上越市で開催)のご報告と、日本都市学会第63回大会(中部担当、岡崎市で開催予定)のお知らせ。

日本都市学会第62回大会(2015年度)は、関東都市学会が担当し、2015年1

0月30日(金)・31日(土)、11月1日(日)に、新潟県上越市において、「新幹線を活かした地方都市のまちづくり」をテーマに開催し、参加者166名(一般参加者57名)、懇親会67名、エクスカッションは33名、研究発表者は50件と盛況のうちに終了することができました。主催の関東都市学会・日本都市学会、共催をいただきました上越市、後援をいただきました(公社)上越観光コンベンション協会をはじめ、ご協力いただきました関係のみなさまには深くお礼申し上げます。

日本都市学会第63回大会(2016年度)は、中部都市学会が担当し、2016年10月28日(金)・29日(土)・30日(日)に、愛知県岡崎市(予定会場は岡崎市図書館交流プラザ(りぶら))において、「地方創生と観光まちづくり」をテーマに開催する予定です。会日は28日のエクスカッション(岡崎城エリア)から始まります。詳細はホームページで追って連絡してまいります。学会員の皆様はスケジュールの調整をよろしくお願いいたします。くわしくは、日本都市学会ホームページ

<http://www.toshigaku.org/> をご覧下さい。ふるってご参加ください。

Ⅶ. 日本都市学会常任理事会のご報告

日本都市学会第2015年度第1回常任理事会は、2016年3月20日(日)に名古屋市の日本都市センターで開催され、2015年度報告・決算、2016年度計画・予算、年報編集、第62回大会報告、第63回大会予定、学会賞、新年度論文審査委員の推薦、岡崎大会における「新しい都市学を考える」プロジェクトのシンポジウム計画(下記に近畿方針)などを審議しました。日本都市学会事項につきましては、詳しくは、

日本都市学会ホームページ <http://www.toshigaku.org/>

(「都市学ドットオルグ」です) をご覧下さい。

Ⅷ. 「新しい都市学を考える」プロジェクトのシンポジウムにつきまして

戸所前会長時より提案されておりました「新しい都市学を考える」プロジェクトにつき、山田前会長時代に各支部担当者を選出し、小長谷常任理事で対応しておりましたが、上記のように、日本都市学会第2015年度末の常任理事会におきまして、岡崎大会の最終日に特別セッションをもうけ総括することとなりました。これにつき、上記の近畿都市学会2016年度第1回理事会で検討し、①担当理事が対応するが、②できるだけ近畿の各方面・各先生の成果を紹介していくことを方針とする、このため、近畿として直近において「総合的都市学」を考えた成果である近畿都市学会編『都市構造と都市政策』(山田浩之編集委員長)の内容をもとに発表を考えることとしました。このため『都市構造と都市政策』の関係者にはご依頼がいく可能性があります、その節はご協力よろしくお願い申し上げます。

Ⅸ. 事務局より

■ 新入会員

松本麻里(普通)

所属: 近畿大学大学院総合文化研究科

■ 退会

文世一

荒木徹

■ 近畿都市学会入会のおすすめ

近畿都市学会会長

21世紀は人類の大半が都市民となる空前の「都市の世紀」を迎えました。しかし、この急速な都市化の前には、環境、開発・保存、防災、人口、交通、福祉等の深刻な課題が逼迫しています。これらの課題の調査研究は、従来は土木・建築、地理、経済、社会、政治・法等の諸学会の研究課題として取り組まれてきましたが、それらの総合的研究は、未だ十分な状態にあるとはいえません。都市に関する理論や諸問題を研究し、健全な方向に都市の発展を導くような総合的・学際的「都市研究」が、各方面から要請されています。

こうした要望にこたえ、第二次大戦後、日本都市学会が復活し、1957（昭和32）年にはその支部として近畿都市学会が設立されました。この間、学会では大学その他の研究者と市政担当者との緊密な協力のもとに、都市に関する総合的な調査研究の実をあげてきました。さまざまな都市問題の解決、都市政策の提言・実践が緊急に迫られている今日、更に多くの研究者、公共団体、NPO・NGO等の市民団体の皆様に御入会をいただき、実り豊かな都市研究を押し進めたいと考えています。

この主旨に御賛同のうえ、近畿都市学会に御入会下さいますよう切に希望する次第です。

=====

1. 代表的な年間活動

- (1) 学術雑誌『都市研究』を年1回発行。
- (2) 『近畿都市学会報』を年4回発行。
- (3) 学術雑誌『日本都市学年報』を年1回発行。[日本都市学会事業]
- (4) 近畿都市学会大会を年2回開催。
(春季大会は大学・学術研究機関等、秋季大会は地方自治体)
- (5) 他に日本都市学会大会を年1回開催。[日本都市学会事業]
- (6) 日本都市学会賞（奥井賞、論文賞、特別賞（まちづくり賞、学術共同研究賞））

授与。[日本都市学会事業]

2. 普通会员の特典

- (1) 上記雑誌『都市研究』（年1巻）の購読・投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記雑誌『日本都市学会年報』（年1巻）の購読・投稿の機会。
- (4) 上記近畿都市学会大会（年2回）への参加・発表の機会。
- (5) 上記日本都市学会大会（年1回）への参加・発表の機会。

※日本都市学会は地方学会（近畿都市学会他）から同時入会となります。普通会员は、年会費8,000円（日本都市学会会費4,000円＋近畿都市学会会費4,000円）です。自治体・法人・企業等は、特別会員（年会費10,000円）となります。

3. 学生会員の特典（学生は普通会员のほか学生会員を選択することもできます）

- (1) 上記雑誌『都市研究』（年1巻）の購読・投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記近畿都市学会大会（年2回）への参加・発表の機会。

※学生会員は、年会費4,000円（近畿都市学会会費のみ）です。

4. 申込連絡先

近畿都市学会事務局：連絡はメールでお願いします。info@kintoshi.org ホームページ：<http://www.kintoshi.org/>

<2016年度会費納入のお願い>

1 頁題字下に記載の口座に2016年度分会費を納入いただきたくお願いいたします。

・ゆうちょ銀行総合口座をお持ちの方はATMから口座間送金（電信振替）でお送りいただくと手数料が無料になります。

・会費年額は、普通会员8,000円、学生会員等（近畿都市学会のみ）4,000円、名誉会員（日本都市学会にも在籍）4,000円、名誉会員（近畿都市学会のみ）無料、特別会員（団体）10,000円です。